

芸術鑑賞会が開催されました

11月17日（金）本校にて狂言鑑賞会が開催されました。

狂言は日本の古典芸能ですが、なかなか鑑賞する機会がないため初めて観る生徒も多かったのではないかと思います。

狂言とは庶民の生活を表現した喜劇です。狂言の舞台はとてもシンプルで、背景に松の木があり、横手に橋がかりと呼ばれる廊下、裏舞台へと続く揚幕という舞台設定で演じられます。また、戸を開ける音などの音響効果は装置に頼らず、全て演者の発声により表現された劇でした。

今回は、三宅狂言会（和泉流）の方々が「蝸牛」と「棒縛」の演目を演じてくださいました。途中では「狂言ワークショップ」と題して楯川先生と各学年より2名ずつ狂言体験をしました。立ち方や構えの姿勢、お腹から大きな声でセリフを言う体験はとても立派で素晴らしかったです。

会場は終始笑いあり、狂言が身近な古典芸能であることを発見するとともに、とても楽しい鑑賞会になったと思います。また、機会があれば鑑賞したいと思います。

保護者と地域の方々には23名の参加がありました。